

W A K A

G I

若

樹

校訓：伸びていく 教育目標：自主力・社会力

第1号



「善福寺川」

杉並区立東田中学校



東京都杉並区成田東 3-19-17

電話：03-3313-1461 FAX：03-3313-4704

新年度を迎えて

校長 杉田 正穂

保護者の皆様、お子さまのご入学、ご進級おめでとうございます。

4月9日、晴天の佳き日に新入生106名の入学を祝し、多くのご来賓、保護者の方々にご臨席賜りまして第73回入学式を挙行することができました。2年生87名、3年生99名、全生徒292名、全生徒がそろい新しい年度がスタートです。昨年度同様、保護者の皆様、地域の皆様のご理解、ご支援をよろしくお願い申し上げます。

新入生が中学校生活をスタートさせる今年は元号が平成から令和に変わる年でもあります。新元号は万葉集の梅の花の序文から引用され、令和となりました。安倍総理は選定理由を「厳しい寒さの後に見事に咲き誇る梅の花のように一人一人の国民が明日への希望と共に大きく花を咲かせることができるようにと願いを込めました」と述べられました。まさに、今、中学校生活をスタートさせる新入生にふさわしい元号だと思います。明日への希望と大きく花を咲かせるために、中学校生活での心がけについて、式辞で話しました。

一つ目は人としての誇りや希望をもち、素直に、正直に生きてほしいということです。

二つ目は主体的に行動してほしいということです。

三つ目は一人で悩まずに相談してほしいということです。

常に自分を律し、誇りや希望を持ち、陰ひがなく素直に、正直に、努力を続け、頑張っている人は誰なのか、みんなが知っています。どんなときでも、最後まであきらめず、努力し続け、夢を叶える人になりましょう。

東田中学校では諸活動、学校行事など生徒が中心となって活動を進めていきます。その活動を進

めていくときに必要なのが主体性です。主体性は学校生活の中心となる授業、すなわち学ぶときにも必要です。中学校の学習は内容が専門的になり、量も増えます。しかし、自ら学習する姿勢、自分で考えて判断する主体性をもっていれば、その不安もなくなります。何事にも主体的に行動しましょう。

中学校生活の三年間は大変短い期間かも知れませんが、楽しいことだけでなく、苦しいこと、辛いこともたくさんあると思います。友達のこと、進路のことなど、いろいろなことで悩んだり苦しんだりすることもあるでしょう。そんな時は周りを見てください。ご家族、そして先生、先輩、友達がいます。さらには、皆さんの力になってくれる相談機関もあります。一人で悩んだり、苦しんだりしないで相談しましょう。

【保護者・地域の皆様へ】

どんなに世の中が変わり、社会が変化してもよりよく生きたいという子どもたちの願いは変わりません。そして、その願いを実現させるのが教育であり、学校の力です。本校の校訓「伸びていく」教育目標「自立力 社会力」を基に、社会の変化を見据え、一人一人が個人として自立し、社会の一員としてそれぞれの分野でたくましく生き抜いていくため「真の力」を身に付けられるよう指導してまいります。今年度も全教職員一丸となって「親切に、丁寧な、最後まで」を合言葉に教育活動を進めていきますので、保護者の皆様、地域の方々のご理解ご協力ご支援のほどお願い申し上げます。



平成 31 年度 教職員一覧

1	校 長	杉田 正穂	経営	
2	副校長	安島 晋	経営	
3	主幹教諭	三田 秀雄	理科	3年副担
4	主任教諭	宮崎 幸恵	国語	1A担任
5	主任教諭	小池林太郎	数学	3A担任
6	主任教諭	田代 文子	数学	2年副担
7	主任教諭	小林 正彦	数学	1年副担
8	主任教諭	齋藤 漠興	理科	2C担任
9	主任教諭	大羽 美由紀	英語	3C担任
10	主任養護教諭	細川 聖子	養護	
11	主任教諭	磯部 進一	保体	学びの教室
12	主任教諭	千賀 美香	美術	学びの教室
19	教 諭	渡邊 訓子	国語	3B担任
20	教 諭	渡辺 広美	社会	2A担任
21	教 諭	安西 冴	社会	1C担任
13	教 諭	濱野 克也	理科	1年副担
14	教 諭	奥 友花	音楽	2年副担
15	教 諭	田中 真里奈	美術	1年副担
16	教 諭	下島 陸矢	保体	3年副担
17	教 諭	吉住 昂	保体	1B担任
18	教 諭	梅木 千紘	英語	2B担任
22	教 諭	千葉 なつみ	音楽	学びの教室
23	教 諭	川瀬 裕子	音楽	学びの教室
24	教 諭	吉嶋 育海	保体	学びの教室
25	非常勤教員	伴 知明	保体	3年副担
26	時間講師	鈴木 崇規	数学	
27	時間講師	柏木 広和	英語	
28	時間講師	砂生 幹雄	技術	
29	時間講師	富永 友起子	家庭	
30	スクールカウンセラー	饒波 圭祐	教育相談	
31	学校司書	後藤 愛子	図書	
32	学習支援教員	押野 広美	数学	
33	特別支援支援員	板谷 美雪	特別支援	
34	特別支援教員	正岡 朋華	国語	学びの教室
35	都主査	谷野 清隆	事務	
36	都栄養士	小野 ひろみ	栄養士	
37	区嘱託員	加藤 智子	事務	
38	区嘱託員	森尾 みゆき	事務	
39	技能主任	尾崎 伸一	用務	
40	技能主任	青木 弘美	用務	
41	技能主任	下川 恭男	用務	

在籍生徒数 平成 31 年 4 月 9 日現在

	1A	1B	1C	小計	2A	2B	2C	小計	3A	3B	3C	小計	総計
男子	22	21	21	64	17	17	18	52	18	18	18	54	170
女子	14	14	14	42	12	12	11	35	15	15	15	45	122
計	36	35	35	106	29	29	29	87	33	33	33	99	292

教職員の異動等 (敬称略)

お世話になりました			
退職・任期終了等職員			
主幹教諭	本田 雅子	国語	退職
教 諭	島村 愛美	美術	退職
主任教諭	田中 充	理科	再任用終了
主任教諭	土屋 充子	音楽	再任用終了
産育代替教諭	小澤 瑞穂	音楽	任期終了
事務嘱託員	富平 光代	事務	任期満了
非常勤講師	竹野 哲彦	社会	任期終了
非常勤講師	林 泰弘	理科	任期終了
非常勤講師	大野 竜太郎	技術	任期終了
非常勤講師	スミス 志延	英語	任期終了
非常勤講師	横森 真里	英語	任期終了
転出職員			
主任教諭	黒木 英寿	社会	
主任教諭	宮本 裕	数学	
主任教諭	渡邊 敦	理科	
教 諭	杉政 華子	音楽	
教 諭	大西 法子	保体	
技能主任	野牧 聖史		
技能主任	野田 育代		
技能主任	吉岡 和代		
学校司書	中野 怜奈		
よろしくお願いします			
転入職員			
主任教諭	宮崎 幸恵	国語	
主任教諭	齋藤 漠興	理科	
主任教諭	小林 正彦	数学	
主任教諭	千賀 美香	美術	
教 諭	安西 冴	社会	
教 諭	吉住 昂	保体	
教 諭	川瀬 裕子	音楽	
教 諭	濱野 克也	理科	
教 諭	奥 友花	音楽	
教 諭	田中 真里奈	美術	
教 諭	吉嶋 育海	保体	
技能長	尾崎 伸一	用務	
技能主任	青木 弘美	用務	
用務主事	下川 恭男	用務	
事務嘱託員	森尾 みゆき	事務	
学校司書	後藤 愛子	司書	
特別支援専門員	板谷 美雪	支援員	

東田中学校学校運営協議会委員

会 長 内田 雅克 職務代理 今井 時代
 委 員 新藤 久典・下嶋 光豊・大平 薫
 鈴木 睦子・山野井 眞美・吉藤 則子
 間淵 洋子・鈴木 春乃・村主 亘

東田中学校学校支援本部「東田クラブ」

支援本部長 今井 時代
 菊地 まどか・長南 紀子・近藤 千恵子
 徳田 靖子・山野井 眞美・鈴木 睦子
 杉山 美帆・幡山 優子

誓いの言葉

やわらかく暖かな風が吹き、太陽の光が満ちあふれ、桜が舞う季節となりました。今日私達は、新たに元号が平成から令和に変わるのと同じように気持ちを新たに、この真新しい大きめの標準服に袖を通し、東田中学校に入学しました。

私は今、どんな新しい友達ができるのか、どんな中学校生活が始まるのか、不安と期待で胸がいっぱいです。

これから私達は、様々な行事に取り組んでいくことになると思います。特に運動会や合唱コンクールは今までは違ってクラス対抗で戦うので新しいクラスの仲間と協力し、助け合ってがんばりたいです。

勉強に関しては、新しい名前の教科も増え、定期考査という小学校にはなかったものもあると聞いています。また、授業の進むスピードが速くなるそうなので、毎時間の授業を真ん中に受けて、部活に入っているがしくなるとしても、しっかりと予習、復習をして分からないところをなくし、授業についていけるようにしたいです。

小学生のときに参加したエニシングオーケーで部活動体験をさせてもらったとき、どの部活も先ばい方が優しくとても楽しかったので部活を通して先ばい方や仲間達との交流を深めていき、いろいろなことを教えてもらいながら、着実に一歩ずつがんばっていききたいと思います。

今日私達がこの東田中学校に入学することができたのは、今まで育ててくれた家族や仲良くしてくれた友達、小学校の先生方の支えがあったおかげです。その方々への感謝の気持ちを忘れずに、勉強だけでなく部活や学校行事にも全力で取り組み、この中学校生活三年間を悔いの残らないように過ごしていきたいです。

これから私達は、中学生として新たな一歩を踏み出します。

先生方を始め先ばい方、私達は分からないことも多くめいわくをかけてしまうと思いますが、東田中学校のことをいろいろ教えてください。どうぞこれからよろしく願います。

平成三十一年四月九日 新入生代表 山縣 祐莉

歓迎の言葉

うらかな春、桜の花びらの舞う今日の良き日、新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

皆さんが今日この東田中学校に入学してくることを、在校生一同心より待っていました。大変嬉しく思います。

桜の木の下、しわ一つ無い新しい制服の中にある心は今、何を感じていますか。一人一人がたくさんの思いをもって入学したと思います。

新入生の皆さん、中学校は「挑戦」の場です。今、皆さんはしっかりと新たに「中学生」としてこの場にいますね。そのことこそがもう挑戦となります。私自身、今ここで話しているのはとても緊張する「挑戦」なのです。小学校の時にはなかった行事、生活、部活動、たくさんの「挑戦」が待っています。特にめまぐるしく変化をしていくこの一年間、大変に思うこともあるかもしれませんが、でも、私たち上級生はそんな時に皆さんを優しく力強くサポートします。

ご存じのとおり五月から年号が変わり「令和」となります。この東田中学校になくてはならない存在となるのです。小学校と中学校の違いとして生徒を主体とした学校運営が挙げられます。学校行事も生徒同士が連携して自分たちの力で成功させなければなりません。今日、皆さんは「東田中学校生」になり、皆さん一人一人の力が東田中学校を支えていきます。共に私たちの東田中学校を作っていきましょう。

心配することはありません。後ろを見てください。先輩達は皆さんを後押ししてくれます。右を見て、左を見れば後に一生の宝物となる友がいます。そして前を見れば希望に満ちあふれた中学校生活が待っています。前向きに進みましょう。

最後に新入生の皆さんが中学校生活をめいっぱい楽しんでもらえること、そしてそのほとばしるエネルギーで東田中学校を切り開いていくことを期待しお祝いの言葉とさせていただきます。

平成三十一年四月九日 在校生代表 小川 なつみ